

すてきな大分を見つけ、伝えよう！

2024.9.8

8月講話会 報告

大型台風10号が大分県上空を通過いたしました。皆様大丈夫だったでしょうか？先月の講話会は、NPO 法人大友氏顕彰会理事長の若杉孝宏様をお迎えし、「名門大友氏と大友宗麟を探る」と題し、お話を伺いました。副題として「じいちゃん的好奇心は、孫に負けん」と元氣いっぱい大友氏の魅力について語っていただきました。小学生のお孫さんからは「じいちゃんはボクのあこがれや」と言われ、それが何よりも嬉しいと、微笑ましいご家族の姿も披露くださいました。

若杉講師のお話の中から、いくつか印象深い内容をご報告いたします。



1. 大友氏初代能直（よしなお）は、“源頼朝の子”との説は、信憑性が高い。

『吾妻鏡』に記録がないとして戦後、頼朝のご落胤説は否定されてきたが、状況証拠からこのご落胤説は全面否定できない。その理由は、①頼朝が殊のほか能直を寵愛したこと②頼朝の寝所の警護、上臥を任せられ、随兵としても常に頼朝の傍で仕えたこと③頼朝が最も重視した豊後を拝領させたこと④豊後下向の時、首藤、衛藤、矢野、舞、三善、森迫等大友家と同格以上の者を頼朝が付けさせたこと。⑤大友氏の子孫は、大友氏初代能直の母（利根の局）を顕彰し吊ってきたが、実父の方は、無視してきたこと等である。

2. 海外貿易は、12代持直（もちただ）から室町幕府の大陸貿易の一翼を担うようになった。大友氏は、代々貿易は大友家の使命と意識してきたのではないか。

3. 「大友二階崩れの変」の真実は、何か。今猶真相は分からない。義鎮（宗麟）が関与していたのか諸説あるところである。最近注目されているのが「府内古図」（江戸時代前期）というもので、この中には、上原館が出ていないことが判明した。事件後に館を取り崩し更地にした可能性がある。これから推察すると事件の発生は、大友館ではなく、上原館ではないかとみられる。



4. ザビエルとの邂逅

義鎮（宗麟）は、22歳の時ザビエル(46歳)を山口の地から迎えた。ザビエルとの出会いがなければその後の宗麟はなかった。それほど影響は大きかった。しかし、受洗は遅れ49歳の時であった。なお、受洗後も仏教（高野山・西生院）との絆は大切に維持していた。晩年は、津久見を終焉の地として選び、世俗との関係から離れ、信仰一筋の生活をされた。「日本史」の著者フロイスによると、宗麟は、自らの人生を振り返り、自らの体を何度もむち打ち、強く懺悔したと言われる。（宗麟をこれほどまでに懺悔させたものは一体何であったのか。…筆者記）

5. 日向遠征・高城川（耳川）で大敗

重臣の反対を押し切り日向侵攻を決定したが、大敗を喫した。このことが大友氏滅亡の原因となる。

6. 主人を裏切らない家臣団の評価と宗麟への評価

下剋上の時代、宗麟の家臣、とりわけ戸次道雪、高橋紹雲、立花宗茂など歴史に名を残す人物が終生

宗麟を裏切らなかった。これは、ひとえに主君宗麟の偉大さと人間的な魅力にあった。
戸次道雪が重臣朽網某との会見で「たとえお屋形様が気が違ったとしても拙者は支える。」とまで語った記録が残っており、これが大友氏家臣の魅力であり、ここまで語らせる魅力がまた宗麟にもあった。(メモ 青井勝久)



9月11月講話会お知らせ



- ① 9月29日(日) 14:00-16:00 『創業者上田保の魅力とマリーンパレスの歩み』
「上田保の人となりと交友関係」 (橋本世紀子夫人)
「上田が作ったマリーンパレスからうみたまごへ」
講師：株式会社マリーンパレス 社長 橋本 均 氏
於：ホトホール大分 409会議室(参加費 500円/人)
*青年・学生は無料(40歳以下) 以下同じ
- ② 11月9日(土) 14:00-16:00 『大分の昆虫 ～チョウを主体として～』
講師：大分昆虫同好会 事務局長 玉嶋勝範 氏
於：ホトホール大分 408会議室 参加費 500円/人
- ③ 11月30日(土) 14:00-16:00 『ふるさとの先達をまちづくりに活かす』
～真名野長者、朝倉文夫、後藤静香他～
講師：大分を愛する豊後大野市民・郷土史研究家 赤嶺信武 氏
於：ホトホール大分 405会議室 参加費 500円/人

《お問い合わせ先》一般社団法人すてきな大分を伝える会 青井勝久 TEL 080-3865-7104

HP (ホームページ) <https://nice-oita.webnode.jp/> E-mail k-aoi1005@outlook.jp

